

5

BIOS セットアップについて

本章では、BIOS セットアッププログラムの機能と工場出荷時の設定について説明します。

1	BIOS セットアップとは.....	120
2	BIOS を工場出荷時設定に戻すには	123
3	Main メニューの詳細	124
4	Advanced メニューの詳細	126
5	Security メニューの詳細	142
6	Exit メニューの詳細	143
7	工場出荷時の設定値	144

① BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、パスワードやハードディスク、周辺機器の使い方などを本体に設定するプログラムのことです。

BIOS セットアップで設定された情報は、CMOS-RAM と呼ばれる特殊なメモリに保存され、電源を切っても設定した内容が消失しないように内蔵バッテリーで保持されます。メモリの増設等の変更をしない限り、1 度 BIOS セットアップを行えば以降は必要ありません。ただし、内蔵バッテリーが消耗または電池交換を行なった場合は、BIOS セットアップは既定値に戻りますので、設定した内容はメモをとるなどして忘れないようにしてください。



メモ

・BIOS セットアップ画面は英語表示のみです。日本語での、項目 / 説明の表示はありません。

① BIOS セットアップの起動方法

- 1 電源を入れた直後（起動時）に **Delete** キーを押し続ける
セットアップ画面が表示されたら **Delete** キーを離してください。



お願い

・ **Delete** キーの入力が受け付けられるのは、パソコンの電源を入れてから数秒間です。この時間内に **Delete** キーを押し続けないと、システムが起動します。

BIOS セットアップが起動できなかった場合は、通常の終了操作を行なって、パソコン本体の電源を切り、上記の手順 1 をやり直してください。



（表示例）

2 BIOS セットアップの操作方法

BIOS セットアップ画面について

BIOS セットアップを起動すると Main メニューが表示されます。

白または青文字で表示されている項目は、設定値を変更することができます。
灰色に表示されている項目は、変更できない状態です。
設定値を変更するには、項目上にカーソルを移動して [Enter] キーを押し、[Option]メニューから設定値を選んで [Enter] キーを押します。

現在開いているメニューが白文字で表示されます。メニューを移動するには、 キーを押します。

選択している項目は白文字で表示されます。

選択している項目の説明が表示されます。

[Enter]の表示がある項目は、サブメニューがあることを示します。サブメニューを表示するには、[Enter]キーを押します。サブメニューから1つ前のメニューに戻るには、[Esc]キーを押します。

使用するキーについて

BIOS セットアップでは、マウスが使用できません。したがって、キーボードからメニューや項目の移動、値の入力などを行います。

ここでは、BIOS セットアップで主に使用するキーについて説明します。

、 キー

1 つ前の項目に移動します。

、 キー

1 つ先の項目に移動します。

キー

左のメニューに移動します。

キー

右のメニューに移動します。

キー

BIOS セットアップのデフォルト値を呼び出します。工場出荷時の設定値とは異なります。

F6 キー

最後に保存された設定値に戻します。設定を元に戻す場合は`[Enter]`キーを、戻さないでセットアップを続ける場合は`[Esc]`キーを押します。

Enter キー

メニューで選択したサブメニューを表示します。

F10 キー

Mainメニューで現在の設定を保存し（CMOS-RAMに書き込み）BIOSセットアップを終了して、システムを起動します。

`[F10]`キーを押すと「Save current settings and exit」というメッセージが表示されます。設定を保存して終了する場合は`[Enter]`キーを、保存しないでセットアップを続ける場合は`[Esc]`キーを押します。

Esc キー

Mainメニューでは、設定を保存せずに終了する画面が表示されます。サブメニューでは、Mainメニューに戻ります。

`[Esc]`キーを押すと「Quit without saving changes」というメッセージが表示されます。設定を保存せずに終了する場合は`[Enter]`キーを、セットアップを続ける場合は`[Esc]`キーを押します。

3 BIOS セットアップの内容

BIOS セットアップは、4つのメニューとその下に続くサブメニューから構成されています。

Main

日付けや時間、ドライブ類の設定を行います。

Advanced

チップセット、パワーマネジメント、PnP、周辺機器などに関する設定を行います。

Security

管理者、またはユーザのパスワードを設定します。

Exit

設定した内容の保存、呼び出しを行います。

なお、BIOS セットアップの内容は出荷時期により多少異なる場合があります。

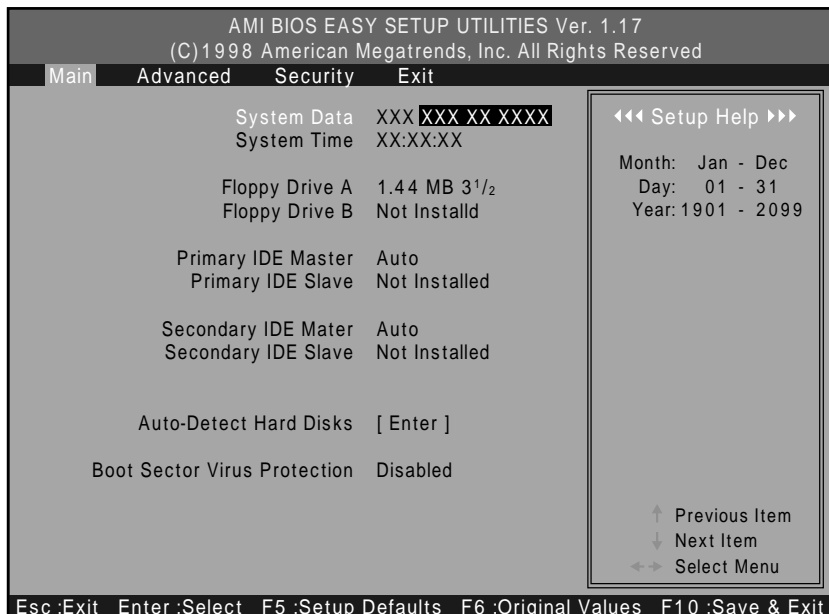


注意 ・BIOS セットアップの内容は、システムが最適に動作するように工場出荷時に設定されています。変更はおすすめしません。
変更が必要な場合は、ユーザサポート窓口にお問い合わせください。

2

BIOS を工場出荷時設定に戻すには

- 1** BIOS セットアップを起動する
☞ BIOS セットアップの起動方法 ☞ 「本章 1-1 BIOS セットアップの起動方法」
- 2** [Exit] メニューより「Load Setup Default Settings」を選択し、
[Enter] キーを押す
「Load Setup Default settings」と表示されます。
- 3** 各項目を工場出荷時の設定にする
☞ 工場出荷時の設定値 ☞ 「本章 7 工場出荷時の設定値」
- 4** [F10] キーを押す
「Save current settings and exit」と表示されます。
- 5** [Enter] キーを押す
変更した設定を保存して終了します。



(注) 画面は一例です。

Mainメニューは、上記のように表示されます。それぞれの項目は、1つ以上のオプション設定ができます。
この画面では、システムの日付や時間、IDEハードディスク、フロッピーディスクドライブの設定を行います。

Floppy Drive A Floppy Drive B

接続しているフロッピーディスク装置のタイプを設定します。

- ・ Not Installed..... 使用しない
- ・ 360KB 5 1/4
- ・ 1.2MB 5 1/4
- ・ 720KB 3 1/2
- ・ 1.44MB 3 1/2
- ・ 2.88MB 3 1/2

Primary IDE Master Primary IDE Slave Secondary IDE Master

Secondary IDE Slave

それぞれのIDEのセットアップ画面を表示します。

IDE Device Configuration

IDE装置のタイプを設定します。

- ・ Auto 自動設定
- ・ Not Installed..... 使用しない
- ・ 01 ~ 46 HDDのパラメータを選択することができます
- ・ User HDDパラメータを設定することができます
- ・ CDROM CD-ROM装置
- ・ Floptical フロッピーディスク装置

32Bit Tranfar Mode

IDE 装置のタイプを設定します。

- On
- Off

Auto-Detect Hard Disks

すべてのIDEドライブのパラメータを自動的に調べます。

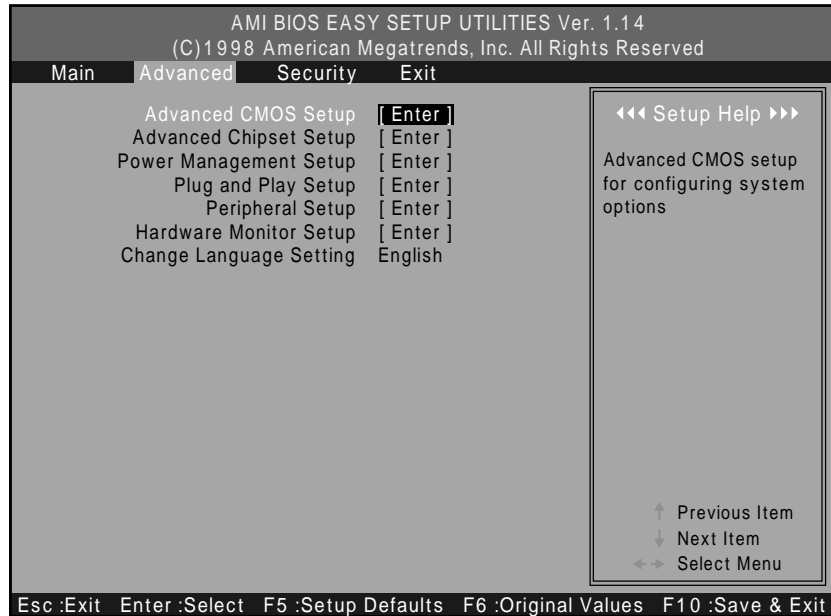
Boot Sector Virus Protection

[Enabled] に設定すると、ハードディスクのブートセクタを書き換えるプログラムやウイルスを発見した場合に警告メッセージを表示します。

- Disabled
- Enabled

4

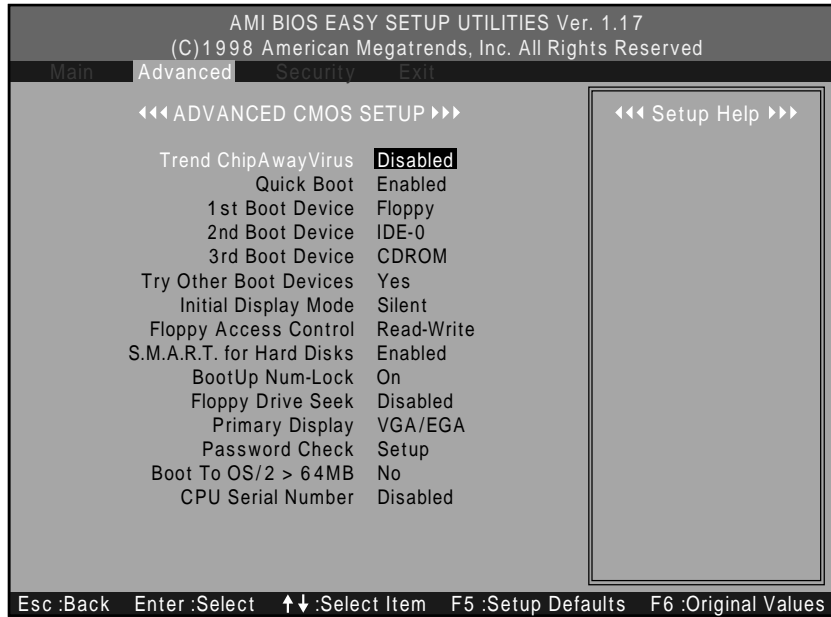
Advanced メニューの詳細



(注)画面は一例です。

Advancedメニューのオプション画面は、この画面で選択すると表示されます。すべてのAdvancedメニューのオプションがここに記述されています。

● ADVANCED CMOS SETUP



(注)画面は一例です。

Trend ChipAwayVirus

最初に起動するハードディスクのブートセクタにウィルスチェックを行ないます。

- Disabled
- Enabled

Quick Boot

[Enabled] に設定すると、システムセルフテストの一部を省略し、パソコンを短時間で起動できます。

- Disabled
- Enabled

1st Boot Device

最初に起動するドライブを指定できます。

- Disabled
- IDE-0
- IDE-1
- IDE-2
- IDE-3
- Floppy
- LS120/ZIP A:
- ATAPI ZIP C:
- CDROM
- SCSI
- NETWORK

2nd Boot Device

2番目に起動するドライブを指定できます。

- Disabled
- IDE-0
- IDE-1
- IDE-2
- IDE-3
- Floppy
- LS120/ZIP A:
- ATAPI ZIP C:
- CDROM
- SCSI
- NETWORK

3rd Boot Device

3番目に起動するドライブを指定できます。

- Disabled
- IDE-0
- IDE-1
- IDE-2
- IDE-3
- Floppy
- LS120/ZIP A:
- ATAPI ZIP C:
- CDROM
- SCSI
- NETWORK

Try Other Boot Devices

[Yes] を選択すると、選択したすべての起動装置が起動に失敗した場合に他の起動装置から起動します。

[No] を選択すると、選択した装置からのみ起動します。

- ・ Yes
- ・ No

Initial Display Mode

起動中に表示する画面を設定します。

[BIOS] を選択すると、システムの状態を表示します。[Silent] を選択すると、TOSHIBA ロゴ画面を表示します。

- ・ BIOS
- ・ Silent

Floppy Access Control

フロッピーディスクのアクセス方法を設定します。

フロッピーディスク装置を「INT40H」機能経由でアクセスする場合に有効です。

- ・ Read-Write
- ・ Read-Only

S.M.A.R.T. for Hard Disks

"S.M.A.R.T." は、"Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology" を表します。

ハードディスク装置の故障によるいくつかの（すべてではなく）問題を防ぎます。

- ・ Disabled
- ・ Enabled

BootUp Num-Lock

[Off] に設定すると、パソコン本体が起動する際に NumLock キーをオフにします。

- ・ On
- ・ Off

Floppy Drive Seek

[Enabled] に設定すると、起動時にフロッピーディスク装置をシークします。

- ・ Disabled
- ・ Enabled

Primary Display

ディスプレイモニタの種類とディスプレイアダプタを指定します。

- ・ Absent
- ・ VGA/EGA
- ・ CGA40 × 25
- ・ CGA80 × 25
- ・ Mono

Password Check

パソコン本体が起動するたび、もしくは、BIOS のセットアップを実行するたびにパスワードチェックを行なうように設定できます。

Security メニューで、パスワードが設定されている場合のみ有効です。

[Always] を選択すると、パソコンを起動するたびにパスワード入力画面が表示されます。

[Setup] を選択すると、BIOS のセットアップを実行するたびにパスワード入力画面が表示されます。

- ・ Setup
- ・ Always

Boot To OS/2 > 64MB

OS/2 で使用できるようにします。

- ・ Yes
- ・ No

CPU Serial Number

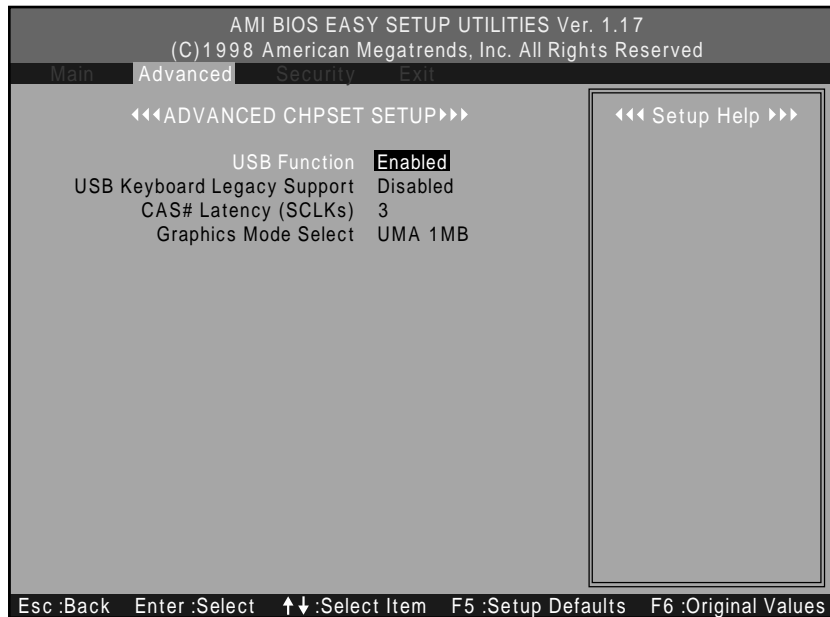


・ Celeron モデルでは、この機能は使用できません。

CPU が持っているシリアルナンバ機能を有効にすることができます。

- ・ Disabled
- ・ Enabled

● ADVANCED CHIPSET SETUP



(注) 画面は一例です。

USB Function

USB 機能を有効にします。

- Disabled
- Enabled

USB Keyboard Legacy Support

レガシーキーボードの USB サポートを有効にします。

- Disabled
- Enabled

CAS # Latency (SCLKs)

DIMM の CAS 待ち時間を指定します。

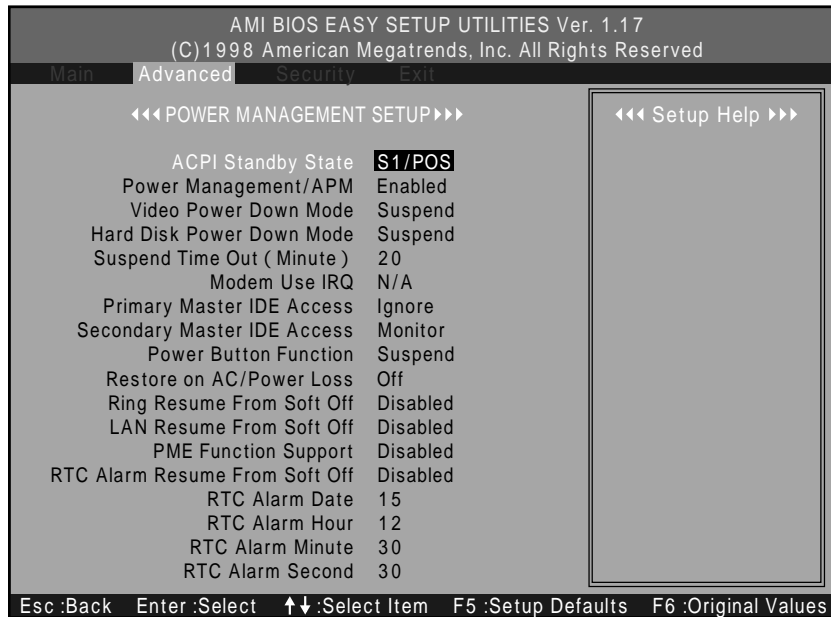
- 3
- 2
- Auto

Graphics Mode Select

内蔵 VGA が占有するメインメモリを指定します。

- Disabled
- UMA 512KB
- UMA 1MB

POWER MANAGEMENT SETUP



(注)画面は一例です。

ACPI Standby State

Windows 98 および Windows 2000 での省電力モードの状態を指定します。
[S3/STR] の方が、省電力モード時の消費電力を抑えられますが、PCI スロットもしくは USB コネクタに増設したデバイスによっては、[S3/STR] をサポートしていない場合があります。問題が発生する場合は、[S1/POS] に設定してください。

- ・ S1/POS Power On Suspend : 周辺デバイスの電源を切断する
- ・ S3/STR Suspend To RAM : メモリ以外の電源を切断する

Power Management/APM

省電力管理および、APM(Advanced Power Management)を可能にします。

- ・ Enabled
- ・ Disabled

Video Power Down Mode

ビデオサブシステムが、一定のシステム停止期間後に移行する、省電力モードを指定します。

- ・ Disabled
- ・ Suspend

Hard Disk Power Down Mode

ハードディスクドライブが、一定のシステム停止期間後に移行する、省電力モードを指定します。

- ・ Disabled
- ・ Suspend

Suspend Time Out (Minute)

操作しない場合に、サスペンドモードに移行するまでの時間を設定します (Windows 起動時はWindows 上の設定で省電力モードに移行するため、本設定は無効になります)

サスペンドモードでは、消費電力が大幅に節約されます。

- ・ Disabled
- ・ 1
- ・ 2
- ・ 4
- ・ 8
- ・ 10
- ・ 20
- ・ 30
- ・ 40
- ・ 50
- ・ 60

Modem Use IRQ

モデムが使用する IRQ と同じ IRQ を選択します。

- ・ N/A
- ・ 3
- ・ 4
- ・ 5
- ・ 7
- ・ 9
- ・ 10
- ・ 11

Primary Master IDE Access / Secondary Master IDE Access

[Monitor] に設定された場合、そのデバイスへのアクセスがあるときには省電力モードに移行しません。

- ・ Ignore
- ・ Monitor

Power Button Function

電源スイッチの用途を設定します (Windows 2000 では、システム上で設定するため、本設定は無効となります) [On/Off] に設定した場合、電源スイッチを押すことにより、システムの電源のオン・オフが可能になります。

[Suspend] に設定された場合は、電源スイッチを押すことにより、Windows 98 起動時にはシステムがスタンバイモードに移行します。電源スイッチを 4 秒押し続けると、システムの電源が切れます。

- ・ On/Off
- ・ Suspend



お願い

- ・ Windows NT モデルの場合は、[Suspend] には設定しないでください。

Restore on AC/Power Loss

電源の不具合によりシステムがシャットダウンした場合、電源が復帰した後にシステムを、パワーオンの状態に戻す設定が可能です。

- Off
- Last State
- On

Ring Resume From Soft Off

シリアル Ring Indicator (RI) ラインの入力 (モデムへの入電) シグナルで、システムを省電力モードから、通常の状態に戻します。

- Disabled
- Enabled

LAN Resume From Soft Off

(WOL コネクタを介した) LAN カードからの入力シグナルで、システムを省電力モードから、通常の状態に戻します。

- Disabled
- Enabled

PME Functions Support

PCI カードからの入力シグナルで、システムを省電力モードから通常の状態に戻します。

- Disabled
- Enabled

RTC Alarm Resume From Soft Off

[Enabled] に設定された場合、省電力モードの状態から、通常の状態に戻すまでの時間を設定できます。

- Disabled
- Enabled

RTC Alarm Date

[RTC Alarm Resume From Soft Off] が、[Enabled] に設定されている場合、アラームが開始する日を設定できます。

- 1, 2, ..., 31 day
- Every Day

RTC Alarm Hour

[RTC Alarm Resume From Soft Off] が、[Enabled] に設定されている場合、アラームが開始する時間を設定できます。

- 0, 1, 2, ..., 23 hours

RTC Alarm Minute

[RTC Alarm Resume From Soft Off] が、 [Enabled] に設定されている場合、アラームが開始する分を設定できます。

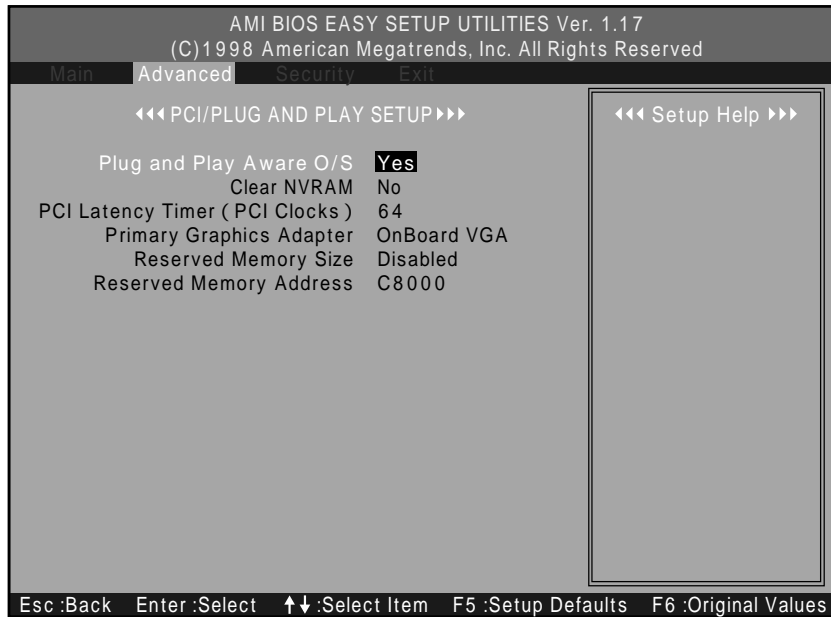
- 0, 1, 2, ..., 59 minutes

RTC Alarm Second

[RTC Alarm Resume From Soft Off] が、 [Enabled] に設定されている場合、アラームが開始する秒を設定できます。

- 0, 1, 2, ..., 59 seconds

● PCI/PLUG AND PLAY SETUP



(注)画面は一例です。

Plug and Play Aware O/S

[No] に設定すると、BIOS がデフォルトのリソースの割り当てを行います。
[Yes] に設定すると、BIOS は最低限のリソースのみ割り当てを行います。
Windows 98 モデルでは [Yes] に、Windows 2000 / NT モデルでは [No] に設定されています。



お願い

・ Windows NT モデルでは、必ず、[No] に設定してください。

- ・ No
- ・ Yes

Clear NVRAM

[Yes] に設定すると、NVRAM の内容を初期化します。

- ・ No
- ・ Yes

PCI Latency Timer (PCI Clocks)

すべての PCI デバイスの要求待ち時間を設定します。ユニットの設定は、PCI クロックと等しくなります。

- ・ 32
- ・ 64
- ・ 96
- ・ 128
- ・ 160
- ・ 192
- ・ 224
- ・ 248

Primary Graphics Adapter

本体内蔵のグラフィック機能を標準にするか、PCI グラフィックカードを標準にするかを設定します。

- ・ OnBoard VGA
- ・ Add-on VGA

Reserved Memory Size

拡張カードの BIOS のために、メモリの予約を行う場合のサイズを指定します。

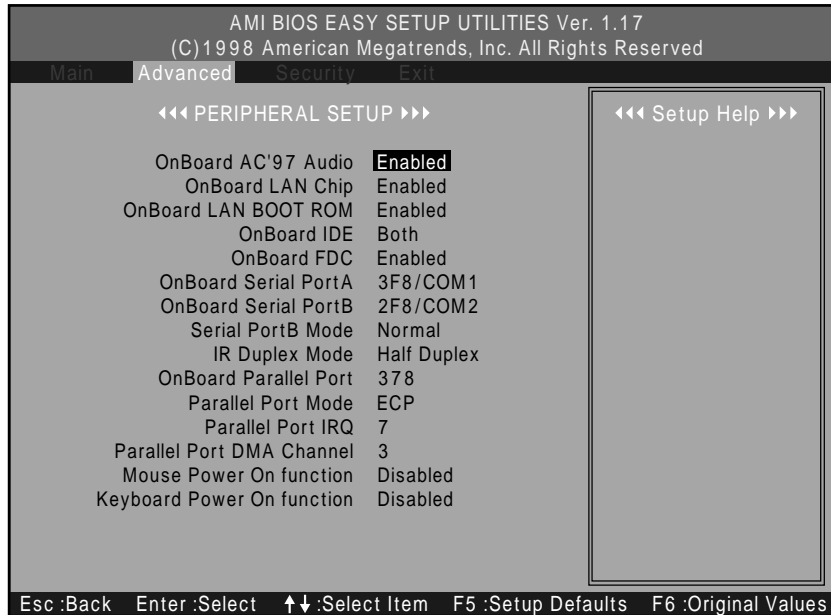
- ・ Disabled
- ・ 16k
- ・ 32k
- ・ 64k

Reserved Memory Address

拡張カードの BIOS が使用するメモリのアドレスを指定します。

- ・ C0000
- ・ C4000
- ・ C8000
- ・ CC000
- ・ D0000
- ・ D4000
- ・ D8000
- ・ DC000

PERIPHERAL SETUP



(注)画面は一例です。

OnBoard AC'97 Audio

メインボードのオーディオコントローラを使用可能にします。

- Enabled
- Disabled

OnBoard LAN Chip

メインボード上の LAN コントローラを使用可能にします。

- Enabled
- Disabled

OnBoard LAN BOOT ROM

内蔵 LAN のブート ROM を使用するかどうか設定します。

[Disabled] に設定した場合、ネットワーク経由の起動はできなくなります。メモリアドレス C0000 から DFFFF の領域内の空きエリアは増えます。

- Enabled
- Disabled



メモ

• [Disabled] に設定した場合でも、内蔵 LAN によるネットワーク接続や Wake On LAN 機能は使用できます。

OnBoard IDE

PCI ローカルバスの IDE コントローラを設定します。

- Disabled
- Primary
- Secondary
- Both

OnBoard FDC

メインボードのフロッピードライブコントローラを使用可能にします。

- Disabled
- Enabled

OnBoard Serial PortA

メインボードのシリアルポート A を使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- Disabled
- 3F8/COM1
- 2F8/COM2
- 3E8/COM3
- 2E8/COM4

OnBoard Serial PortB

メインボードのシリアルポート B を使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- Disabled
- 3F8/COM1
- 2F8/COM2
- 3E8/COM3
- 2E8/COM4

Serial PortB Mode

シリアルポート B の操作モードを設定します。

COM2 を赤外線ポートではなく、シリアルポートとして使用する場合は、Normal (標準値) の設定を変更しないでください。

- Normal
- IrDA

IR Duplex Mode

Serial PortB Mode で [IrDA] を選択すると、画面に表示されます。

二重通信のモードを設定します。

- Half Duplex
- Full Duplex

OnBoard Parallel Port

メインボードの平行ポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- Disabled
- 378
- 278
- 3BC

Parallel Port Mode

平行ポートのモードを設定します。

- Normal
- Bi-Dir
- EPP 1.9
- EPP 1.7
- ECP

Parallel Port IRQ

平行ポートのIRQを設定します。

- 5
- 7

Parallel Port DMA Channel

平行ポートのDMAチャンネルを設定します。

- 0
- 1
- 3

Mouse Power On function

マウスから電源を入れる機能を設定します。

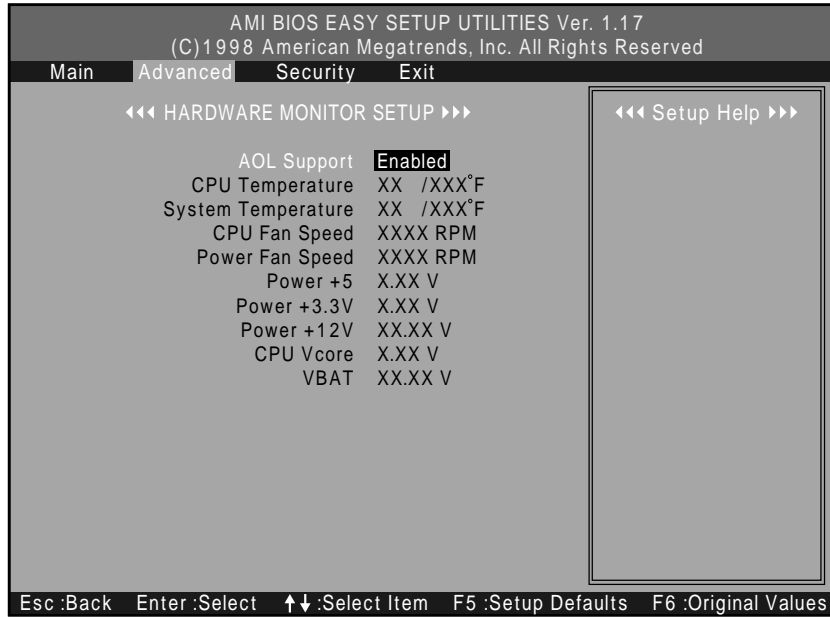
- Disabled
- Double Click

Keyboard Power On function

キーボードから電源を入れる機能を設定します。

- Disabled
- Specific Key
- 98KB (Power)
- 98KB (Wake)

HARDWARE MONITOR SETUP



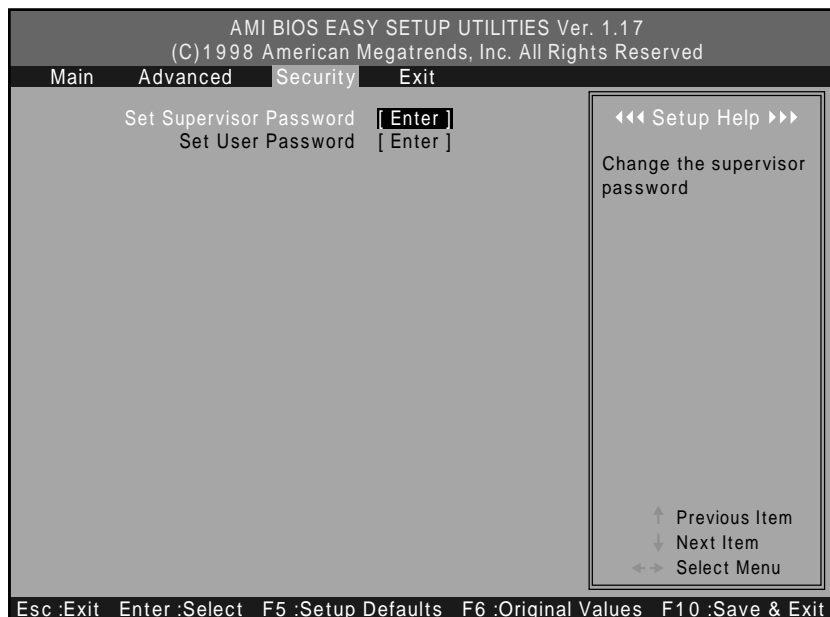
(注)画面は一例です。

AOL Support

AOL (Alert On LAN) の機能を設定します。

- Disabled
- Enabled

5 Security メニューの詳細



(注) 画面は一例です。

● パスワードの設定

管理者パスワードとユーザパスワードを設定することができます。

パスワードが必要なければ、パスワードを入力する画面が表示されたときに **[Enter]** キーを押します。

ユーザパスワードを設定した場合、ユーザパスワードでの起動時に BIOS セットアップにて設定できる項目が制限されます。

キーボードからパスワードを登録することができます。[Supervisor] か [User] を選択すると、BIOS がパスワードを入力するように指示してきます。

ユーザパスワードを設定する前に管理者パスワードを設定しなければなりません。1文字から6文字までのパスワードを設定します。キーボードから入力しているとき、入力した文字は表示されません。

● パスワードの変更

パスワードを入力し、**[Enter]** キーを押します。新しいパスワードを入力し、すぐに同じ新しいパスワードを再び入力してから **[Enter]** キーを押します。2度目に違うパスワードを入力すると、エラーメッセージが表示されます。

Set Supervisor Password

管理者パスワードの設定および変更を行います。

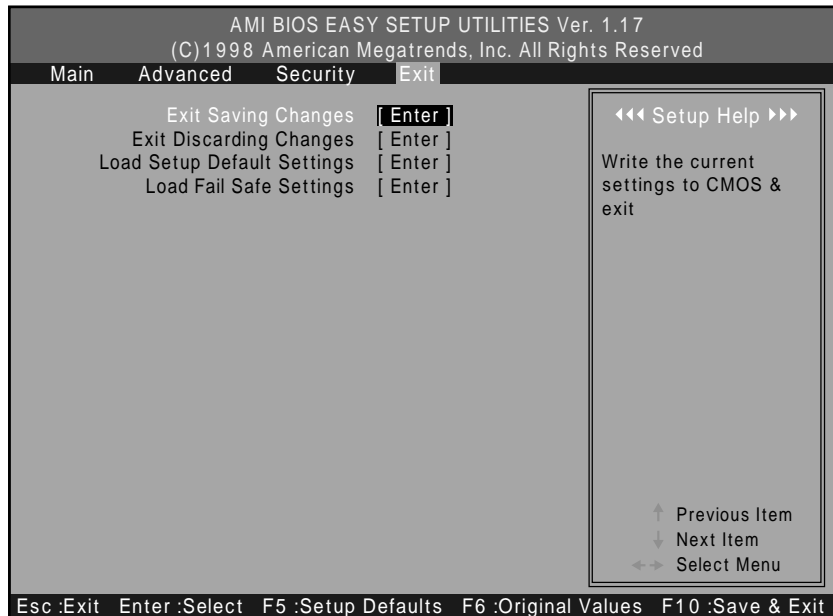
Set User Password

ユーザパスワードの設定および変更を行います。



お願い

- ・パスワードを登録する場合は、忘れないように必ずパスワードを控えてください。
- ・パスワードは表示されませんので、確認することはできません。
- ・パスワードを忘れてしまった場合、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションにパスワードの解除をご依頼ください。パスワードの解除は有償で行なっています。また、そのとき身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。



Exit Saving Changes

CMOS に新規設定を書き込み、終了します。

Exit Discarding Changes

CMOS に新規設定を書き込まずに、終了します。

Load Setup Default Settings

BIOS のデフォルト設定に戻します。

本メニューを選択後、ご使用のモデルの工場出荷時の設定に変更してください。

☞ 工場出荷時の設定値 ⇨ 「本章 7 工場出荷時の設定値」

Load Fail Safe Settings

コンピュータが起動しない場合、この選択肢を選び、コンピュータが起動した後に起動できなかった原因を突き止めます。

この設定はあまりおすすめできません（最良の設定ではありません）。

7

工場出荷時の設定値

項目の設定については各メニューの詳細をご覧ください。

[Security] メニュー、[Exit] メニューには工場出荷時の設定値はありません。

Main メニュー

Mainメニューの項目		Windows 98	Windows 2000 / NT
System Date		-	
System Time		-	
Floppy Drive A		1.44MB 3 ¹ / ₂	
Floppy Drive B		Not Installed	
Primary IDE Master	IDE Device Configuration	Auto	
	32Bit Transfer Mode	-	
Primary IDE Slave	IDE Device Configuration	Not Installed	
	32Bit Transfer Mode	-	
Secondary IDE Master	IDE Device Configuration	Auto	
	32Bit Transfer Mode	-	
Secondary IDE Slave	IDE Device Configuration	Not Installed	
	32Bit Transfer Mode	-	
Auto-Detect Hard Disks		-	
Boot Sector Virus Protection		Disabled	

Advanced メニュー

Advancedメニューの項目		Windows 98	Windows 2000 / NT
Advanced CMOS Setup	Trend ChipAwayVirus	Disabled	
	Quick Boot	Enabled	
	1st Boot Device	Floppy	
	2nd Boot Device	CDROM	
	3rd Boot Device	IDE-0	
	Try Other Boot Devices	Yes	
	Initial Display Mode	Silent	
	Floppy Access Control	Read-Write	
	S.M.A.R.T. for Hard Disks	Enabled	
	BootUp Num-Lock	On	
	Floppy Drive Seek	Disabled	
	Primary Display	VGA/EGA	
	Password Check	Setup	
	Boot To OS/2 > 64MB	No	
	CPU Serial Number	Disabled	

Advancedメニューの項目		Windows 98	Windows 2000/NT
Advanced Chipset Setup	USB Function	Enabled	
	USB Keyboard Legacy Support	Disabled	
	CAS# Latency (SCLKs)	3	
	Graphics Mode Select	UMA 1MB	
Power Management Setup	ACPI Standby State	S3/STR	
	Power Management/APM	Enabled	
	Video Power Down Mode	Suspend	
	Hard Disk Power Down Mode	Suspend	
	Suspend Time Out (Minute)	Disabled	
	Modem Use IRQ	N/A	
	Primary Master IDE Access	Ignore	
	Secondary Master IDE Access	Monitor	
	Power Button Function	Suspend	On/Off
	Restore on AC/Power Loss	Off	
	Ring Resume From Soft Off	Disabled	
	LAN Resume From Soft Off	Disabled	
	PME Function Support	Disabled	
	RTC Alarm Resume From Soft Off	Disabled	
	RTC Alarm Date	-	
	RTC Alarm Hour	-	
	RTC Alarm Minute	-	
RTC Alarm Second	-		
Plug and Play Setup	Plug and Play Aware O/S	Yes	No
	Clear NVRAM	No	
	PCI Latency Timer (PCI Clocks)	64	
	Primary Graphics Adapter	OnBoard VGA	
	Reserved Memory Size	Disabled	
	Reserved Memory Address	-	
Peripheral Setup	OnBoard AC'97 Audio	Enabled	
	OnBoard LAN Chip	Enabled	
	OnBoard LAN BOOT ROM	Enabled	
	OnBoard IDE	Both	
	OnBoard FDC	Enabled	
	OnBoard Serial PortA	3F8/COM1	
	OnBoard Serial PortB	2F8/COM2	
	Serial PortB Mode	Normal	
	IR Duplex Mode	-	
	OnBoard Parallel Port	378	
	Parallel Port Mode	ECP	
	Parallel Port IRQ	7	
	Parallel Port DMA Channel	3	
	Mouse Power On function	Disabled	
Keyboard Power On function	Disabled		
Hardware Monitor Setup	AOL Support	Disabled	
Change Language Setting		-	

6

カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方

Windows 98 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリ CD が同梱されています。

本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の使い方について説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは..... 148
- 2** 標準システムを復元する 149
- 3** 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98 モデル)..... 151
- 4** アプリケーションを再インストールする
(Windows 98 モデル)..... 152

① カスタム・リカバリCD / リカバリCD とは

① カスタム・リカバリCD とは (Windows 98 モデル)

Windows 98 モデルには次のカスタム・リカバリCD が同梱されています。

Product Recovery CD-ROM
アプリケーション & ドライバCD-ROM

カスタム・リカバリCD は、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。

標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

最小構成でシステムを復元する

Windows のみを復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。

☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する (Windows 98 モデル)」

アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションを再インストールできます。

☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする (Windows 98 モデル)」



メモ

・カスタム・リカバリCD は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② リカバリCD とは (Windows 2000 / NT モデル)

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリCD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリCD は何らかの障害によって、ハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows 2000 / NT モデルには、アプリケーションCD (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーションCD は、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項についてはアプリケーションCD をCD-ROM 装置にセットし、Autorun 機能により表示される初期画面をご覧ください。



メモ

・リカバリCD / アプリケーションCD は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することは出来ません。

② 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

① 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書（本書）



メモ

- ・Windows 2000 / NT モデルの場合、工場出荷時のパーティション設定は、最初の 4GB が NTFS (C:) で、残りは空き領域となっています。空き領域を使用するには、Windows 2000 の場合は「ディスクの管理」、Windows NT の場合は「ディスクアドミニストレータ」を使用してください。

② 操作手順

Windows 98 モデルの場合



注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- ・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device] [2nd Boot Device] [3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

☞ BIOS セットアップについて ☞ 「5 章 BIOS セットアップについて」

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずしてください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk1」を CD-ROM 装置にセットする

3 パソコンを再起動する

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

4 **[1]**キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 **[Y]**キーを押す

処理を中止する場合は、**[N]**キーを押してください。

ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

6 CD を取り出し、何かキーを押す



お願い

- ・CD をセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ず CD を取り出してからキーを押してください。

システムが起動し、Windows のセットアップが始まります。

☞ Windows のセットアップについて ☞ 「2 章 2 初めて電源を入れるときは」

Windows 2000 / NT モデルの場合



注意

・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device] [2nd Boot Device] [3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

☞ BIOS セットアップについて ☞ 「5 章 BIOS セットアップについて」

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずしてください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM 装置にセットする

3 パソコンを再起動する

「復元する構成を選択してください」というメッセージが表示されます。

4 Windows 2000 を復元する場合には、**[1]** キーを押す

Windows NT を復元する場合には、**[2]** キーを押す

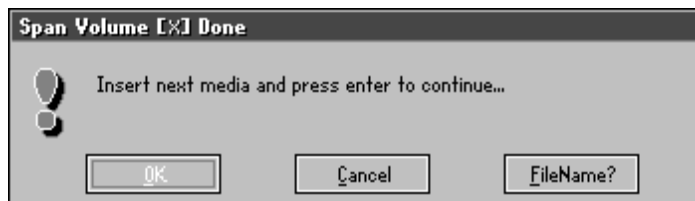
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

5 復元の処理を開始する場合には、**[Y]** キーを押す

処理を中止する場合には、**[N]** キーを押す

6 メッセージに従い、「Product Recovery CD-ROM」を入れ替える

Windows 2000 の復元中に次のメッセージが表示された場合には、「Product Recovery CD-ROM Disk 2」に入れ替えて、**[Enter]** キーを押してください。



7 復元が完了したら、「Product Recovery CD-ROM」を CD-ROM ドライブから抜く

8 何かキーを押して、システムを再起動する



・CD をセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ず CD を取り出してからキーを押してください。

システムが起動し、Windows のセットアップが始まります。

☞ Windows のセットアップについて ☞ 「2 章 2 初めて電源を入れるときは」

3 最小構成でシステムを復元する(Windows 98 モデル)

Windows 98 モデルでは、Windows のみを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。



・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。

1 準備

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）

2 操作手順



注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device] [2nd Boot Device] [3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。
☞ BIOS セットアップについて ☞ 「5 章 BIOS セットアップについて」

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずしてください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk1」を CD-ROM 装置にセットする

3 パソコンを再起動する

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

4 [2] キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 [Y] キーを押す

処理を中止する場合は、[N] キーを押してください。

ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

6 CD を取り出し、何かキーを押す



・CD をセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ず CD を取り出してからキーを押してください。

システムが起動し、Windows のセットアップが始まります。

☞ Windows のセットアップについて ☞ 「2 章 2 初めて電源を入れるときは」

4

アプリケーションを再インストールする(Windows 98 モデル)

Windows 98 モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」をセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	困ったときのQ & A	154
----------	-------------------	-----



1 困ったときのQ & A

実際に本装置を操作しようとしたときに、思ったとおりに操作できなかつたり、何をしたらよいかわからないときがあります。すぐに、故障だ！とあわてる前に、この章をお読みください。

各システムのコマンドを使用しているときにエラーメッセージが表示された場合は、各システムのマニュアルを参照してください。

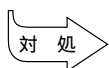
アプリケーションソフトをご使用の方は、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

● 電源が入らない	154
● エラーメッセージが表示される	155
● Windows NT でシャットダウン後電源が切れない	155
● 画面の表示がおかしい	156
● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない	157
● マウスの操作ができない	157
● フロッピーディスク装置が使えない	158
● フロッピーディスクが使えない	158
● アプリケーションソフトが使えない	159
● ハードディスク装置が使えない	159
● CD-ROM 装置が使えない	160
● サウンドが鳴らない	160
● 印刷できない	161
● テレビ、ラジオに障害が出る	161
● 省電力機能が正常に動作しない	162
● 異常や故障の場合	162
● どうしてもわからない場合	162

● 電源が入らない

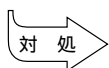
状 況 ● 本体の電源が入らない

確認 電源コードはパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込まれていますか？



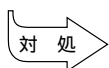
● 電源コードをパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込んでください。

確認 電源ランプは点灯していますか？



● 電源スイッチを押してください。

確認 電源コンセントに電源が通じていますか？



● 電源の通じている電源コンセントに差ししてください。

エラーメッセージが表示される

状況 ● 起動時にエラーメッセージが表示される

確認 システムの入っていないフロッピーディスクがセットされていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを抜き出してから、再起動してください。

確認 電源を切って、また、すぐに入れませんでしたか？

対処 ● 電源を切ってから 5 秒以上待って電源を入れてください。

状況 ● アプリケーションソフト使用時にエラーメッセージが表示される

対処 ● アプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

状況 ● 「CMOS Checksum Bad」というエラーメッセージが表示される

確認 内蔵バッテリーが消耗していませんか？

対処 ● 内蔵バッテリーを交換してください。
☞ 「4 章 10 内蔵バッテリーの交換」

Windows NT でシャットダウン後電源が切れない

状況 ● Windows NT でシャットダウン後、パソコン本体の電源が切れない

確認 Windows NT の Service Pack をインストールしましたか？

対処 ● Windows NT の Service Pack6a より新しい Service Pack をインストールした場合、東芝ソフトウェアパワーオフ機能は動作を保証しません。東芝ソフトウェアパワーオフをアンインストールして再度 Service Pack をインストールしてください。
この場合、シャットダウンしても電源は自動的に切れません。シャットダウン後に電源スイッチを押して電源を切ってください。
インストール方法については、アプリケーション CD を CD-ROM 装置にセットし、Autorun 機能により表示される画面に従ってください。

確認 市販の Windows NT を再インストールしましたか？

対処 ● 東芝ソフトウェアパワーオフ機能を再度インストールしてください。
インストール方法については、アプリケーション CD を CD-ROM 装置にセットし、Autorun 機能により表示される画面に従ってください。

● 画面の表示がおかしい

状況 ● 画面に何も映らない

確認 パソコン本体およびディスプレイの電源は入っていますか？

対処 ● 電源を入れてください。

確認 ディスプレイ用電源コードは接続されていますか？

対処 ● 電源をいったん切ってから、コンセントに差し込んでください。

確認 ディスプレイ用信号ケーブルは正しく接続されていますか？

対処 ● ゆるみがないように正しく接続してください。

確認 表示自動停止機能が働いていませんか？（Windows 98 / 2000）

対処 ● **Shift** キーを押したり、マウスを動かしたり、電源スイッチを押してください。

確認 USB 機器は接続していますか？

対処 ● 接続されている USB 機器によっては、USB 機器の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れると、パソコン本体が起動しない場合があります。パソコン本体の電源を入れてから USB 機器の電源を入れてください。

状況 ● 画面の表示が乱れる、あるいは画面のサイズや表示位置等が異常である

確認 ディスプレイの輝度、コントラスト等の調整および、各調整スイッチでの調整は正しくできていますか？

対処 ● 輝度、コントラストおよび各調整スイッチを用いて、正しく調整してください。
☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

確認 ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行ないましたか？

対処 ● 電源をご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。
☞ 「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」
また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行なってください。

● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

状況 ● キーボードから入力できない

確認 キーボードケーブルのプラグをマウスコネクタに接続していませんか？

対処 ● キーボードケーブルのプラグをキーボードコネクタに接続してください。

状況 ● どのキーを押しても反応しない

対処 ● 電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

状況 ● 電源を入れ直しても反応しない

対処 ● **Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押してください。

状況 ● 半角の「`~`」(チルダ)が入力できない

対処 ● **Shift** + **Alt** キーを押してください

状況 ● 「`£`」「`¢`」「`¥`」などが入力できない

対処 ● OADG規格の106キーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。お使いの日本語入力システムに付属の説明書を参照してください。

状況 ● 希望の文字が入力できない

対処 ● キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。お使いの日本語入力システムに付属の説明書を参照して、文字ロックを希望の状態にしてください。

● マウスの操作ができない

状況 ● マウスを操作しても反応しない

確認 マウスがキーボードコネクタに接続されていませんか？

対処 ● マウスをマウスコネクタに接続してください。

● フロッピーディスク装置が使えない

状況 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットし、**Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押しても、システムが再起動しない

確認 システムが入っていないフロッピーディスクをセットしていませんか？

対処 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットしてください。

確認 フロッピーディスクは正しく挿入されていますか？

対処 ● 正しく挿入されていない場合があります。フロッピーディスクを一度抜いて、もう一度挿入し直してください。
どうしてもフロッピーディスク装置が使えない場合は、フロッピーディスク装置が故障しているおそれがあります。お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

状況 ● FDD アクセスランプが消えない

対処 ● 大量のデータを処理しているときは、ランプが消えるまで待ってください。どうしてもランプが消えないときは、作業を中断（フロッピーディスクを取り出してから電源を切る、または**Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押す）してください。再起動後、同じ作業を繰り返してみても、それでもFDDアクセスランプが消えない場合は、お買い上げの販売店、もしくは同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

● フロッピーディスクが使えない

状況 ● 「書き込み禁止です。」というエラーメッセージが表示された

確認 フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。
☞ 書き込み可能状態について ☞ 「1章 4-4- 3.5型フロッピーディスク」

状況 ● 「ファイルが作れません。」というエラーメッセージが表示された

確認 フォルダは作成されていますか？

対処 ● フォルダを作って、そこにファイルを作ってください。

状況 ●「ディスクがいっぱいです。」というエラーメッセージが表示された

確認 ディスクの空き容量が少なくありませんか？

- 対処**
- 不要なファイルを削除して、やり直してください。
 - 別のフロッピーディスクを使用してください。

状況 ●フロッピーディスク装置にフロッピーディスクを挿入しているのに、「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」というメッセージ画面が表示される

- 対処**
- [キャンセル] ボタンをクリックして画面を閉じたあと、フロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行なってください。

状況 ●フロッピーディスク装置に、フロッピーディスクを挿入しているのに、「ドライブAのディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」というメッセージ画面が表示される

- 対処**
- [いいえ] ボタンをクリックして画面を閉じたあと、フロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行なってください。

● アプリケーションソフトが使えない

状況 ●アプリケーションソフトが思うように動かない

確認 システム構成は正しく設定されていますか？

- 対処**
- アプリケーションソフトのマニュアルを読んで、指示があればシステム構成を変更してください。

状況 ●アプリケーションソフトが動かない

確認 そのアプリケーションソフトはシステムに対応していますか？

- 対処**
- システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。

● ハードディスク装置が使えない

状況 ●データの読み/書きができない

- 対処**
- 故障しているおそれがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

● CD-ROM 装置が使えない

状況 ●CD-ROM 装置にアクセスできない

確認 CD-ROM 装置のディスクトレイはきちんとしまっていますか？

対処 ●CD-ROM 装置のディスクトレイを正しく格納してください。

確認 CD がきちんとセットされていますか？

対処 ●CD-ROM 装置のディスクトレイを引き出し、ラベルが付いている方を上にして、CD をセットしてください。

確認 CD-ROM 装置のディスクトレイに異物はありませんか？

対処 ●何かはさまっていたら取り除いてください。

確認 CD が汚れていませんか？

対処 ●水か中性洗剤で湿らせた布で、汚れを拭き取ってください。

確認 対応していないフォーマットの CD-ROM をセットしていませんか？

対処 ●CD-ROM 装置が対応しているフォーマットの CD-ROM をセットしてください。

☞ 「1 章 4-3 CD-ROM 装置について」

状況 ●CD が取り出せない

確認 電源が切れていませんか？

対処 ●電源を入れてから、CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押してください。

● サウンドが鳴らない

状況 ●音楽用 CD や WAV ファイルを再生しても、音が出ない

確認 ボリュームが下がっていませんか？

対処 ●ボリュームコントロールで音量を確認してください。

確認 スピーカが接続されていますか？

対処 ●本体背面の LINE OUT 端子にスピーカ（別売り）を接続してください。
☞ スピーカの接続方法 ☞ 「4 章 5 スピーカ（別売り）の接続」

印刷できない

状況 ●プリンタが動作しない

確認 プリンタの電源は入っていますか？



●本体の電源をいったん切り、プリンタ、本体の順で電源を入れ直してください。

確認 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていますか？



●正しく接続してください。

状況 ●画面上の表示と異なった印刷物が出てきたり、うまく印刷できない

確認 アプリケーションソフト上でのプリンタの設定条件は、ご使用のプリンタの設定に合っていますか？



●アプリケーションソフト上、または Windows のプリンタ設定で正しく設定し直してください。

☞『アプリケーションソフトに付属の説明書』

確認 BIOS セットアップでのパラレルモード設定は合っていますか？



●BIOS セットアップの [Advanced] - [PERIPHERAL SETUP] の [Parallel Port Mode] を [ECP] に設定してください。

テレビ、ラジオに障害が出る

状況 ●テレビ、ラジオの調子がおかしい

確認 テレビ、ラジオの近くにパソコン本体やディスプレイを置いていませんか？



●テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。

●テレビ、ラジオに対するパソコン本体やディスプレイの方向を変えてください。

●テレビ、ラジオから離してください。

●テレビ、ラジオの電源コンセントとは別の電源コンセントを使ってください。

●電源コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてください。

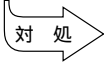
●受信機に屋外アンテナを使ってください。

●平衡フィーダを同軸ケーブルに替えてください。

● 省電力機能が正常に動作しない

状況 ● 省電力機能が正常に動作しない

確認 市販の PCI カードまたは USB 機器を使用していますか？



● PCI カードまたは USB 機器の種類によっては、省電力機能が正常に動作しない場合があります。

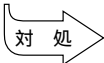
BIOS セットアップを起動し、[Advanced] - [POWER MANAGEMENT SETUP] の [ACPI Standby State] を [S1/POS] に設定してください。

☞ BIOS セットアップ ☞ 「5 章 BIOS セットアップについて」

● Windows 上の省電力機能を使用しないでください。

● 異常や故障の場合

状況 ● 異常な臭いや過熱に気がついた



● 電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

● 次のところに連絡してください。

・お買い上げの販売店

それでもわからない場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

・使用している機器の名称

・ご購入年月日

・現在の状態

できるだけ詳細にご連絡ください。

● どうしてもわからない場合

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、同梱の『ユーザサポート窓口のご案内』をご覧のうえ、現在の状態をメモし、お買い上げの販売店または同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションにご相談ください。

付録

本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

1	製品仕様	164
2	各インタフェース	170
3	エラーメッセージ	176
4	その他の設定	177

1 製品仕様

1 仕様概要

モデルにより多少異なります。

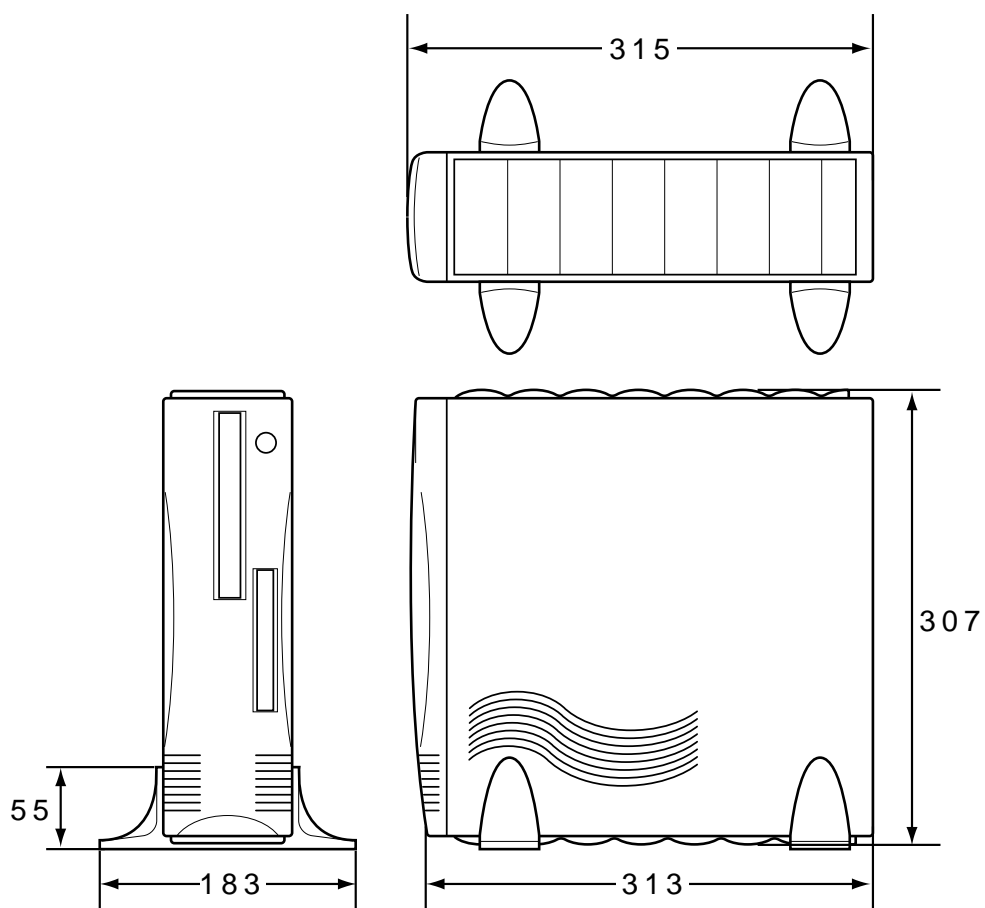
機 種		EQUIUM 5020
プロセッサ	メインプロセッサ	Pentium III 800EBMHz または Celeron 667MHz
		1次CACHE (32kB) FPU内蔵
		2次CACHE : 256kB (Pentium モデル) 128kB (Celeronモデル)
メモリ	標準メモリ	DIMM 64MB / 128MB / 256MB / 512MB (256MB×2) SDRAM 100MHz ECC無し
	増設メモリ	DIMMスロット×2 (内1つまたは2つを標準メモリで使用) 最大512MB (256MB×2)
		使用可能 DIMM 64MB / 128MB / 256MB ECC無し 100MHz
	ROM	FLASH MEMORY 4Mbit (書き換え可能)
表示機能	コントローラ	i810E GMCH
	ビデオRAM	Display Cache 無し (メインメモリと共有)
	グラフィック表示	640×480 256・64k・16M色 800×600 256・64k・16M色 1024×768 256・64k・16M色 1280×1024 256・64k・16M色 ^{*1} 1600×1200 256色 ^{*1}
通信機能	伝送速度	100Mbps TX LAN
	適合規格	100BASE-TX / 10BASE-T
補助記憶装置	FDD	3.5型 1台装備 720kB / 1.2MB / 1.44MB (3モード)
	HDD	3.5型 1台装備
		10GB / 20GB / 30GB
CD-ROM	24倍速 (最大)	
入力装置	キーボード	109キー 分離型
	マウス	PS/2 ホイール付き

*1 デジタルRGB ディスプレイでは、1280 × 1024、1600 × 1200 のモードで使用できません。

機 種		EQUIUM 5020
インタフェース	シリアル	2ポート D-SUB 9ピン、16C550互換
	パラレル	1ポート セントロニクス準拠
	アナログRGB	1ポート アナログ RGB (3列タイプ)
	デジタルRGB	1ポート デジタル
	PS/2マウス	1ポート
	PS/2キーボード	1ポート
	LAN	1ポート
	オーディオ	LINE IN、LINE OUT、マイク端子
	USB	2ポート *1
拡張スロット	PCI	× 2
内蔵機能	サウンド	i810E ICH + AD1881 (Codec)
カレンダー機能		日付、時計機能 ボタン型バッテリー使用 電池交換可 寿命約3年
特殊機能	パワーマネージメント	HDD : パワーダウン
	PnP	Plug & Play対応BIOS *1
電源	電源条件	100V 50/60Hz
	最大消費電力	90W
周囲温度	動作	10 ~ 35
	非動作	- 20 ~ 60
相対湿度	動作	20%Rh ~ 80%Rh (ただし結露しないこと)
	非動作	10%Rh ~ 90%Rh (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体	89 (W) × 315 (D) × 307 (H) mm (たて置き時、台座を除く)
	キーボード	454 (W) × 172 (D) × 42 (H) mm (非フィルトアップ時)
質量	本体	約6kg
	キーボード	約1kg

*1 Windows NT4.0 をご使用の場合は、サポートされません。

2 外形寸法図



(単位 : mm)

3 メモリマップ

アドレス	容量	定義
00000000	512/640kB	システムボードRAM
000A0000	128kB	ビデオメモリエリア
000C0000	128kB	BIOSエリア他
000E0000	128kB	システム BIOSエリア他
00100000	~511MB	システムボードRAMエリア
20000000		

4 I/O マップ

アドレス	I/O
00000000-0000000F	DMAコントローラ
00000010-0000001F	マザーボード リソース
00000020-00000021	プログラミング可能な割り込みコントローラ
00000022-0000002D	マザーボード リソース
0000002E-0000002E	PCI バス
0000002F-0000002F	PCI バス
00000030-0000003F	マザーボード リソース
00000040-00000043	システム タイマ
00000044-0000005F	マザーボード リソース
00000060-00000060	106日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)
00000061-00000061	システム スピーカー
00000062-00000063	マザーボード リソース
00000064-00000064	106日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)
00000065-0000006F	マザーボード リソース
00000070-00000071	システム CMOS/リアル タイム クロック
00000072-0000007F	マザーボード リソース
00000080-00000090	DMAコントローラ
00000091-00000093	マザーボード リソース
00000094-0000009F	DMAコントローラ
000000A0-000000A1	プログラミング可能な割り込みコントローラ
000000A2-000000BF	マザーボード リソース
000000C0-000000DE	DMAコントローラ
000000DF-000000EF	マザーボード リソース
000000F0-000000FF	数値デ - タ プロセッサ
00000170-00000177	セカンダリ IDE コントローラ (デュアル FIFO) *
00000170-00000177	Intel(r) 82801AA Ultra ATA Controller*
000001F0-000001F7	プライマリ IDE コントローラ (デュアル FIFO) *
000001F0-000001F7	Intel(r) 82801AA Ultra ATA Controller*
000002F8-000002FF	通信ポート (COM2)
00000376-00000376	セカンダリ IDE コントローラ (デュアル FIFO) *
00000376-00000376	Intel(r) 82801AA Ultra ATA Controller*
00000378-0000037F	ECP プリンタ ポート (LPT1)
000003B0-000003BB	Intel(R) 810E Graphics Controller*
000003C0-000003DF	Intel(R) 810E Graphics Controller*
000003F0-000003F5	TOSHIBA 3-mode Floppy (TOSHIBA DeskTop Type A)
000003F6-000003F6	プライマリ IDE コントローラ (デュアル FIFO) *
000003F6-000003F6	Intel(r) 82801AA Ultra ATA Controller*
000003F7-000003F7	マザーボード リソース
000003F8-000003FF	通信ポート (COM1)
00000400-0000047F	PCI バス
00000480-000004BF	PCI バス
000004D0-000004D1	PCI バス
00000540-0000054F	Intel(r) 82801AA SMBus Controller
0000067C-0000067F	PCI バス
00000778-0000077B	ECP プリンタ ポート (LPT1)
0000077C-0000077F	PCI バス
00000800-0000087F	PCI バス
00000CF8-00000CFF	PCI バス
0000BC00-0000BC3F	Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10 / 100)
0000B000-0000BFFF	Intel(r) 82801 AA PCI Bridge
0000D400-0000D41F	Intel(r) 82801 AA USB Universal Host Controller
0000D800-0000D83F	SoundMAX Integrated Digital Audio
0000DC00-0000DCFF	SoundMAX Integrated Digital Audio
0000FFA0-0000FFA7	プライマリ IDE コントローラ (デュアル FIFO)
0000FFA0-0000FFA7	Intel(r) 82801AA Ultra ATA Controller
0000FFA8-0000FFAF	セカンダリ IDE コントローラ (デュアル FIFO)
0000FFA8-0000FFAF	Intel(r) 82801AA Ultra ATA Controller

*部分 + 400h 番地ごとに Shadow

5 割り込みレベル・DMAチャンネル

● 割り込みレベル

IRQ	Channel
0	Interval Timer
1	Keyboard
2	IRQ from Second Interrupt
3	Serial Port 2,4
4	Serial Port 1,3
5	LAN
6	Floppy
7	Parallel Port 1
8	System CMOS / Real Time Clock
9	VGA
10	USB
11	Sound / SMBus
12	Mouse Port
13	Math coprocessor
14	Primary IDE
15	Secondary IDE

ご使用の環境（ハードウェア/ソフトウェア）によって変更される場合があります。

● DMA チャンネル

DMA	幅	Channel
0	8/16ビット	User
1	8/16ビット	User
2	8/16ビット	Floppy
3	8/16ビット	Parallel Port
4	-----	DMA Controller
5	16ビット	User
6	16ビット	User
7	16ビット	User

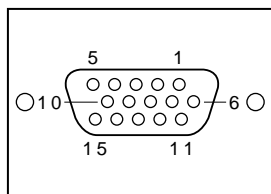
（出荷時の標準設定）

ご使用の環境（ハードウェア/ソフトウェア）によって変更される場合があります。

② 各インタフェース

① アナログRGB インタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Unused	未使用	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	モニタID	
12	DDCDAT	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号(TTL)	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号(TTL)	O
15	DDCCLK	SCLデータクロック信号	I/O

② アナログRGB インタフェースの同期信号

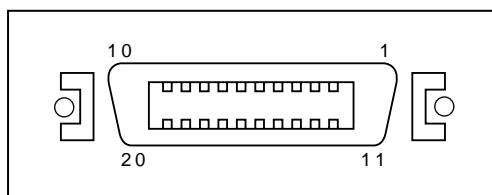
解像度 色数	640×480	800×600	1024×768	1280×1024	1600×1200
	垂直 (Hz)				
256	60-85	60-85	60-85	60-85	60-85
64k	60-85	60-85	60-85	60-85	—
16M	60-85	60-85	60-85	60-85	—

色数 256:256色、64k:65,536色、16M:1,677万色

ご使用になれる解像度、色数は接続するディスプレイによって異なります。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

③ デジタルRGB インタフェース

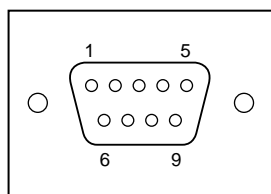


ピン番号	意味	ピン番号	意味
1	緑色データ+	11	赤色データ+
2	緑色データ-	12	赤色データ-
3	緑色データ接地	13	赤色データ接地
4	クロックデータ接地	14	青色データ接地
5	クロックデータ+	15	青色データ+
6	クロックデータ-	16	青色データ-
7	DDCの接地	17	未使用
8	DDCの+5V	18	ホットプラグ信号
9	未使用	19	DDCデータ信号
10	未使用	20	DDCクロック信号

デジタルRGB ディスプレイの最大解像度は1024 × 768 ドットです。

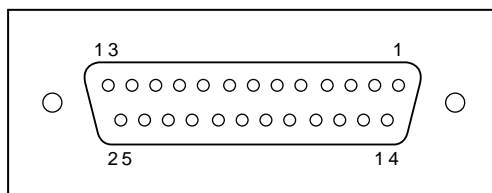
④ シリアルインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グラウンド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

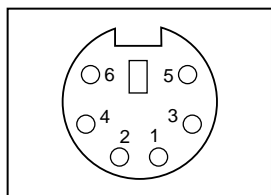
5 パラレルインタフェース



(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	-STROBE	PD0 ~ PD7のデータを書き込むための同期用出力信号	O
2 ~ 9	PD0 ~ PD7	データの0ビット目から7ビット目の情報を送信する出力信号	O
10	-ACK	プリンタ内のBUSY状態が解除された直後に出る、プリンタ側からの要求パルス	I
11	BUSY	プリンタがデータ受信可能な状態であるかどうかを示すDCレベルの信号	I
12	PE	用紙切れの検出を知らせるDCレベルの信号	I
13	SELECT	プリンタのセレクト/ディセレクト状態を示すDCレベルの信号	I
14	-AUTFD	入出力信号	O
15	-ERROR	プリンタのエラー状態を示すDCレベルの信号	I
16	-PINIT	プリンタ制御部を初期状態にする出力信号	O
17	-SLIN	未使用	I/O
18 ~ 25	GND	信号グランド	

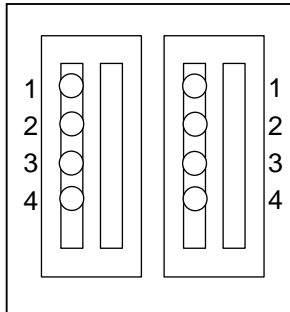
6 キーボード・マウスインタフェース



(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

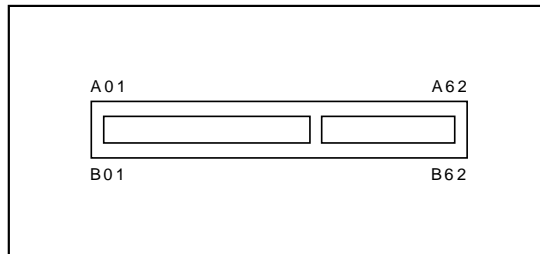
ピン番号	信号名	意味	I/O
1	DATA	データ	I/O
2	Unused	未使用	
3	GND	信号グランド	
4	+5V	+5V	
5	CLOCK	クロック	I/O
6	Unused	未使用	

7 USB インタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	-Data	I/O
3	+Data	I/O
4	GND	

8 拡張スロット (PCI タイプカード用)



付
録

9 拡張スロット (PCI タイプ)

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1	-12V		TRST#	I
2	TCK	I	+12V	
3	GND		TMS	I
4	TDO	O	TDI	I
5	+5V		+5V	
6	+5V		INTA#	I/O
7	INTB#	I/O	INTC#	I/O
8	INTD#	I/O	+5V	
9	PRSNT1#	O	予約	
10	予約		+5V(I/O)	
11	PRSNT2#	O	予約	
12	GND		GND	
13	GND		GND	
14	予約		予約	

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
15	GND		RST	I
16	CLK	I	+5V(I/O)	
17	GND		GNT#	I/O
18	REQ#	I/O	GND	
19	+5V(I/O)		予約	
20	AD [31]	I/O	AD [30]	I/O
21	AD [29]	I/O	+3.3V	
22	GND		AD [28]	I/O
23	AD [27]	I/O	AD [26]	I/O
24	AD [25]	I/O	GND	
25	+3.3V		AD [24]	I/O
26	C/BE [3] #	I/O	IDSEL	I
27	AD [23]	I/O	+3.3V	
28	GND		AD [22]	I/O
29	AD [21]	I/O	AD [20]	I/O
30	AD [19]	I/O	GND	
31	+3.3V		AD [18]	I/O
32	AD [17]	I/O	AD [16]	I/O
33	C/BE [2] #	I/O	+3.3V	
34	GND		FRAME#	I/O
35	IRDY#	I/O	GND	
36	+3.3V		TRDY#	I/O
37	DEVSEL#	I/O	GND	
38	GND		STOP#	I/O
39	LOCK#	I/O	+3.3V	
40	PERR#	I/O	SDONE	I/O
41	+3.3V		SBO#	I/O
42	SERR#	I/O	GND	I/O
43	+3.3V		PAR	I/O
44	C/BE [1] #	I/O	AD [15]	
45	AD [14]	I/O	+3.3V	
46	GND		AD [13]	I/O
47	AD [12]	I/O	AD [11]	I/O
48	AD [10]	I/O	GND	
49	GND		AD [09]	I/O
50	コネクタ・キー			
51	コネクタ・キー			
52	AD [08]	I/O	C/BE [0] #	I/O
53	AD [07]	I/O	+3.3V	

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
54	+3.3V		AD〔06〕	I/O
55	AD〔05〕	I/O	AD〔04〕	I/O
56	AD〔03〕	I/O	GND	
57	GND		AD〔02〕	I/O
58	AD〔01〕	I/O	AD〔00〕	I/O
59	+5V(I/O)		+5V(I/O)	
60	ACK64#	I/O	REQ64#	I/O
61	+5V		+5V	
62	+5V		+5V	

● PCIスロットの電流容量

PCIスロットで使用可能な電流容量は次のとおりです。

PCIスロットの許容電流値
スロットごとに、次の許容電流値を必ず守ってください。

電流容量	PCIスロット
+5V	1A以下 0A もしくは
+3.3V	0A 1A以下
+12V	0.5A以下
-12V	0.1A以下

この項目では、システム起動時に発生する可能性のあるブザー類およびエラーメッセージを説明します。



注意 ・これらのエラーが繰り返し発生する場合は、エラーメッセージの内容と現在の本体の設定環境を具体的に記録し、『保守サービスのご案内』をご覧くださいのうえ、すぐにサービスステーションまでお問い合わせください。

エラーメッセージ	説明
BIOS BATTERY HAS FAILED	内蔵バッテリーが消耗しています。 新しいバッテリーに交換してください。 ☞「4章 10 内蔵バッテリーの交換」
CMOS CHECKSUM BAD	CMOSでエラーが検出されました。内蔵バッテリーが消耗している可能性があります。 バッテリーが消耗している場合は、新しいバッテリーに交換してください。
DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK AND PRESS ENTER	システムを起動する装置が見つかりません。 フロッピーディスク装置から起動する場合は、システムの入ったフロッピーディスクをセットし、[Enter]キーを押してください。 ハードディスク装置から起動する場合は、システムが正しくインストールされているか、また、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
DISK DRIVERS OR TYPES MISMATCH ERROR -RUN SETUP	ディスク装置が正しく定義されていません。 BIOSセットアップを起動し、ディスク装置を正しく設定し直してください。 ☞「5章 BIOSセットアップについて」
DISPLAY SWITCH IS SET INCORRECTLY	メインボードのディスプレイスイッチの設定が正しくありません。 メインボードのディスプレイスイッチを「カラー」に設定し、ジャンパまたはBIOSセットアップを正しく設定し直してください。 ☞「5章 BIOSセットアップについて」
DISPLAY TYPE HAS CHANGED SINCE LAST BOOT	前回起動したときと、ディスプレイアダプタが異なります。 BIOSセットアップを起動して、正しく設定してください。
ERROR ENCOUNTERED INITIALIZING HARD DRIVE / ERROR INITIALIZING HARD DISK CONTROLLER	ハードディスクをインシャライズできません。 ハードディスクが正しく接続されているか、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。 また、BIOSセットアップで、ハードディスクの設定が正しく行われているか確認してください。 必要に応じてハードディスクのジャンパの設定が正しく行われているか確認してください。
FLOPPY DISK CNTRLR ERROR / NO CNTRLR ERROR / NO CNTRLR PRESENT	フロッピーディスク装置が見つかりません。またはインシャライズできません。 フロッピーディスク装置が正しく接続されているか、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
KEYBOARD ERROR / NO KEYBOARD PRESENT	キーボードをインシャライズできません。 キーボードのケーブルが正しく接続されているか確認してください。 また、起動中にキーを押さないでください。
MEMORY SIZE HAS CHANGED SINCE LAST BOOT	前回起動したときと、メモリの量（サイズ）が異なります。 （システムに認識されていません） BIOSセットアップを起動し、新しいメモリの量を設定してください。
MEMORY VERIFY AT...	メモリ書込み確認でエラーが検出されました メモリマップを確認のうえ、デバイスが使用するメモリを指定された範囲内に設定してください。
PRESS A KEY TO REBOOT	再起動が必要なエラーが発生しました。 どれかキーを押してください。システムが再起動します。
PRESS F1 TO DISABLE NM1, F2 TO REBOOT	BIOSがNMI状態を検出しました。 NMIを無効にするには[F1]キーを押します。 NMIを無効にせずにシステムを再起動するには[F2]キーを押します。
RAM - CHECKING FOR SEGMENT...	RAMでエラーが発生しました。 故障したRAMを新しいものと交換してください。
SYSTEM HALTED, (CTRL- ALT-DEL) TO REBOOT	システムを正常に起動できませんでした。 [Ctrl] + [Alt] + [Delete]キーを押して、再起動してください。

4 その他の設定

1 Windows 98 モデル

● DDC 機能について

EQUIUM シリーズでは、VESA (Video Electronics Standard Association) 準拠の DDC (Display Data Channel) 機能を持っており、プラグアンドプレイに対応しています。DDC 機能とは、モニタとの通信機能のことです。

ただし、CRT ディスプレイが対応していない場合は、DDC 機能は使用できません。ディスプレイに付属のマニュアルでご確認ください。

● DirectX について

● DirectX のインストールについて

本装置には DirectX7 ドライバがインストールされています。ゲームなどをインストールするときに、DirectX のインストールを促す画面が表示される場合がありますが、DirectX7 ドライバを置き換えないことをおすすめします。

インストールをする場合は、内容をよく理解したうえで、お客様の責任においてインストールを行なってください。



- ・DirectX7 を置き換えてしまった場合、他のアプリケーションソフトが正常に動作しない場合があります。

● ディスプレイアダプタの設定について

ゲームをインストールした後に、次の「ディスプレイアダプタの確認」でディスプレイアダプタの設定内容を確認してください。工場出荷時、ディスプレイアダプタの設定は次のとおりです。

Intel(r) 82810E Graphics Controller

ディスプレイアダプタの設定が異なる場合は、アプリケーション CD からインストールし直してください。



- ・ディスプレイアダプタが変更された状態のままでは、他のアプリケーションソフトが正常に動作しない場合があります。
- ・ディスプレイの名称については [スタート] メニューから [はじめに]-[リリース情報] をクリックして表示される [出荷時の設定について] をご覧ください。

ディスプレイアダプタの確認

- 1 デスクトップ上の、アイコンなどが何も表示されていないところで、右クリックし、[プロパティ]をクリックする

[画面のプロパティ]画面が表示されます。

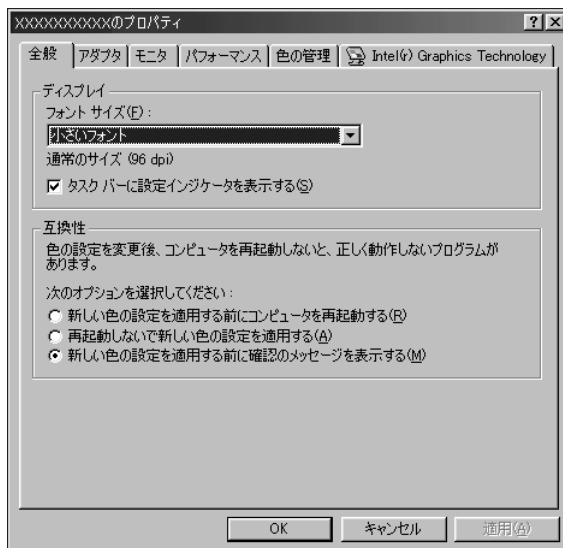
- 2 [設定]タブをクリックする



(注) 画面は一例です。

- 3 [詳細]ボタンをクリックする

[XXXXXX (ディスプレイアダプタ名)のプロパティ]画面が表示されます。



(注) 画面は一例です。

- 4 [アダプタ]タブをクリックする

[Intel(r) 82810E Graphics Controller]が表示されているか確認し、[キャンセル]ボタンをクリックして作業を終了します。

ディスプレイアダプタの変更方法

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」をセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

② Windows NT モデル

● Service Pack 6a のインストールについて

LAN などのドライバ / プロトコルを追加 / 変更した場合には、Service Pack 6a を再度インストールしなければなりません。

次の手順に従って操作してください。

- 1 Administrator 権限でログオンする
- 2 「Windows NT Service Pack 6a Disc1」の CD をセットする
- 3 [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする
- 4 「D:¥i386¥UPDATE¥Update.exe」と入力する
「D:」は CD-ROM ドライブの場合です。
- 5 [OK] ボタンをクリックする
インストールが開始されます。表示されるメッセージに従ってインストールしてください。
インストールが完了すると、メッセージが表示されます。
- 6 [再起動] ボタンをクリックする
パソコンを再起動します。

